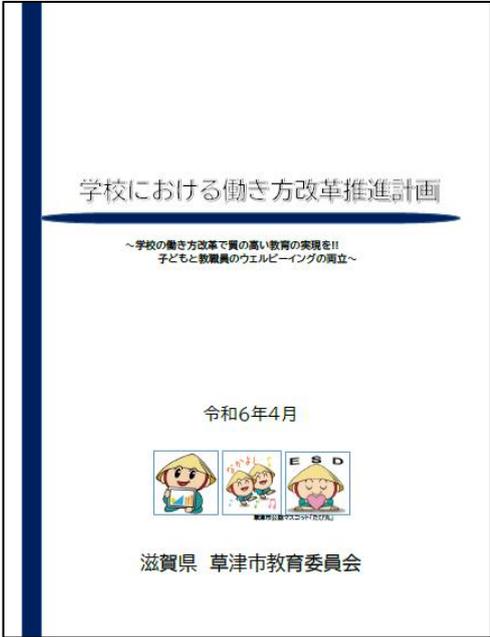


<別紙> 情報提供様式

①事例名	
部活動休養日を週3日(平日2日、休日1日)へ	
②学校名	
草津市内全中学校	
連絡先	
③取組分野(複数選択可)	
■部活動(外部人材、地域連携・地域展開、実施日・終了時刻変更等)に関する取組	
④直面していた課題(取組前の様子)	
・部活動顧問の負担が大きく、平日の放課後に授業準備などの時間が確保できていなかったため、超過勤務の原因となっていた。	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<p>平日の休養日を2日に変更 これまで平日の休養日は1日としていたが、さらに平日に1日休養日を増やした。</p> <p><u>取組のポイント</u> 全ての部活動で特定の曜日を休養日にした学校と、体育館などの施設面の都合により部活動ごとに異なる曜日を休養日にした学校がある。学校事情で休養日の曜日設定が異なるが、市内の全ての中学校で平日2日を休養日にした。</p>	
<p>⑦取組の成果</p> <p>市内6中学校の教職員の平均超過在校時間が減少した。最も減少した学校は月平均で約7時間短くなった。また、全ての部活動で特定の曜日を休養日にした学校のほうが、超過在校時間が減少している。</p> <p><u>成果のポイント</u> 超過在校時間の外にも部活動顧問の業務が1日減ったことで、負担感も減少している。</p>	